



2026 年 10 月 1 日

AI 行員「みんなの相棒」を導入 ～管理職を支える「参謀」に続き、担当者に寄り添う AI 行員～

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2026 年 10 月 1 日付で、AI 行員「みんなの相棒」が営業統括部に「着任」しましたので、お知らせします。

当行は、第 16 次中期経営計画「エンゲージメントバンクグループ ～フェーズ 2～」において、「エンゲージメントの深化を通じて、ファンを増やす」ことを取組指針に掲げており、その実現に向けて、AI の活用や AI 人材の育成を進めています。

「みんなの相棒」は、営業店担当者一人ひとりの活動実績や日々の営業活動に関するデータをもとに、強みや特性を整理し、それらを生かしたお客さまへの提案活動を支援する AI 行員です。営業担当者との対話を通じて気づきや行動変容を促し、継続的な成長を支援します。

営業活動では、お客さま情報の整理や面談準備、提案内容の検討、面談後の振り返りなど、さまざまな場面で判断や工夫が求められます。「みんなの相棒」は、これまでの活動実績から成果につながる行動傾向を分析し、担当者の強みや特徴を可視化したうえで、お客さまとの会話のきっかけや提案時の着眼点、次回面談に向けたアプローチなどをアドバイスします。

本取組みは、AI 担当部長「みんなの参謀」に続く AI 活用施策です。「みんなの参謀」が営業店の管理職による意思決定を支援する一方、「みんなの相棒」は営業担当者の日々の実践と成長を支援します。両者を組み合わせることで、営業力の向上とお客さまへの提案価値の向上を目指します。

当行では、AI を人の仕事を置き換える存在ではなく、人と一緒に働く同僚と位置づけています。「みんなの相棒」は、一律の答えを示すのではなく、営業担当者が自ら考え、行動するための「伴走役」として機能します。

当行は、人にしかできない価値と AI の力を掛け合わせ、営業担当者一人ひとりの成長と、お客さまへの提案・サービス品質の向上を通じて、地域社会への価値提供を高めてまいります。

以 上